事例No.	2630
公表年度	R5
団体の属性	一般市
団体名	大分県豊後高田市

事例区分	地域活性化

タグ	・移住定住 ・観光 ・地域運営組織

事例種類	地域資源の活用

事例内容・タイトル

大分県豊後高田市

出典

平成28年度ふるさとづくり大賞事例集

大分県豊後高田市

概　　要

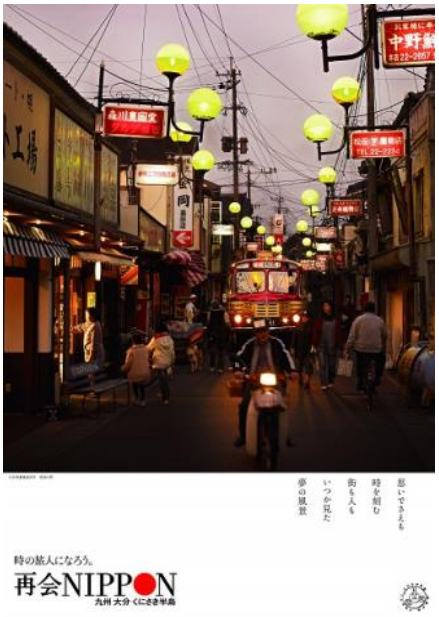


衰退する中心市街地商店街において、観光の要素を取り入れた商業と観光の一体的振興策である「昭和の町」のまちづくり、本市の商店街が一番活気のあった昭和30年代の懐かしい町並みづくりに、市、商業者、商工会議所が一体となり取り組む。

また、「昭和の町」の運営のため豊後高田市観光まちづくり株式会社を設立し昭和の町をより発展させるなか、観光客が皆無の商店街をピーク時には年間約40万人が訪れる観光地へと再生させた。

市において移住定住促進を進めるなか、「昭和の町」における移住者による起業も増えており、商店街の新たな刺激となっている。

評価された点



・昭和の懐かしい街並みを資源として商店街活性化、観光振興につなげている取り組みは他の地域の範となる取り組み。また、市を挙げて移住定住促進にも積極的に取り組み、教育や子育て支援の充実等と相乗し実績をあげている。
・「昭和の町」は訪日外国観光客にも注目されるディストネーション。地域の活性化はもちろん、昭和の町の元気さが市の魅力として移住促進にも繋がっている。
・ハード整備の街づくり構想から、「昭和」という時代にスポットを当てた独自のまちづくりに取組み、成功。時代の転換点にある日本社会に強力なメッセージを投げかけている。
・観光客がいなかった商店街を40万人が訪れる観光地に育てあげるとともに、移住者の受け入れにも力を入れて２年連続で社会増を果たすなど、大きな成果。
・レトロなまちづくりの先駆的な取り組みとして評価。
・昭和という過ぎ去った歴史を資産としてとらえ、まちづくりを進めてきた点は秀逸。